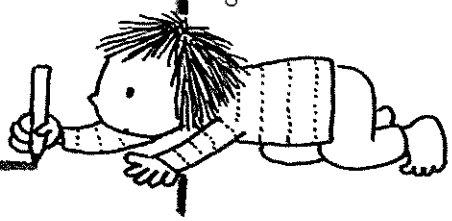
金城学院幼稚園

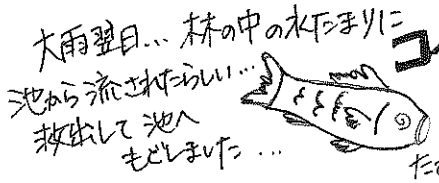
２０２６年度

こどもニュース

No. 8

9/30 発行





【豪雨を経験して】

９月８日(火)名古屋は東海豪雨を超える雨量の豪雨に見舞われました。園では職員みんなで土嚢を積み対策、しかし園北側の文四郎池から水がしみ出し、大雨とともに側溝からあふれた水が滝のように流れ込みました。幸い床上浸水はしませんでしたがエントランスや遊戯室前が完全に冠水し怖かったです。

夜になって雨が少し収まり、情報を収集しつつ状況判断、遅くに帰宅の途につきましたが、途中各所の冠水や渋滞があったことはご存知のとおりです。

大学では 30 名ほどの学生が帰宅できず、看護学部の実習室（実習用に様々な種類の沢山のベッドがあります）に宿泊、中高でも帰宅できず学校に泊まった生徒がいました。

気候変動の影響か、秋雨前線が長期にわたり停滞し、毎日の様に各地での被害が報じられ「あっという間の浸水だった」という情報が各地から寄せられています。名古屋も警報のレベルの上がり方が急でした。今後もこのような雨の降り方、災害の起こり方になっていくことが予想されます。

今回の経験を活かし、園でも早め早めの判断を心がけ、また線状降水帯等の予報が結果的に当たらなくても、安全を第一に考え「予防的」にお迎えや休園を検討していくことが必要だと改めて感じました。

【園庭整備も自分たちで！】

雨が続いた９月でしたが、運動会に向けて、わずかでも雨の止み間があると少しずつ各種目の経験を積んできました。しかし「あ！降ってない！やろう！」と思っても、お庭はあちこちに水たまりができ、ぐちゃぐちゃのコンディション…。

そこで大活躍したのが年長さんたちでした。バケツと雑巾を持ってくると、次々と水たまりの水を雑巾に吸わせバケツへ。でこぼこしたところにはスコップで土を運びます。だれも嫌がることなく「こっちもまだ水あるよー」と声を掛け合って協力して整備をしてくれました。
見学の方々が「すごいですねー、子ども達が自分たちで準備するんですね！」と驚いていました。

このような姿は「園の生活の主人公は自分達」と感じているからこそですね。生活の主体者だという自覚があるから

★雨降ってないからリレーしよう
→水たまりがあるから走りにくいね
→じゃあ、水たまりなくさないと！
→みんなでやろう！
と、なるのですね。



そして、その姿を見ていた年中さんや年少さんが、翌日からは同じように雑巾で水を吸い出してくれましたよ。
今の子ども達は雑巾が絞れないと言われていますが、金城学院幼稚園の子ども達は、それもバッチリですよ！

【行事は日々の積み重ねのうえに】

長雨の中、他園の園長先生方から「運動会の練習ができなくて困ってる」という声を多く聞きました。確かに、なかなか取り組みにくいお天気でした。

本園の行事は日々の生活の延長線上にあると考えています。異年齢の関わりの中で毎年の運動会を経験してよく見てきた年長さん、年中さんは「今年は○○をするんだ！」とよくわかっています。雨で延び延びになり、やっとこすっとこ、今年初めて運動会の取り組みをした日、子ども達がちゃんとクラスのコーンの前に 2 列で並び、笛に合わせて退場したり、かけっこ、リレー等に取り組む姿に「ちゃんと覚えているんだ！」と驚きました。新しい種目への挑戦もありますが、運動会の大きな流れや段取りは毎年ほぼ一緒。年長さんや年中さんがしっかりと見て経験してきている事を当日までの過程で活かして過ごします。その積み重ねがとても大事だと思っています。

【みんなでできる、みんなが楽しい運動会とは？】

特に大きな行事は、その「意味」を子ども達自身が理解して、楽しんで参加できることが

大事です。「言われたことを一生懸命する」ことも大事ですが、一人ひとりが「やりたい!」と主体的に参加し「おもしろい!」と楽しんで行事を迎えることを大切にしたいと考えています。

一番大事なのは「子ども達にとって」楽しい運動会ではないでしょうか。そう考えると、競技の数が多すぎると疲れてしまいますし、最近の気候変動、高い気温の中では競技時間や待ち時間が長ければ熱中症の危険が子どもも大人も増してしまいます。以前は途中休憩を挟んで 12 時過ぎまで行っていましたが、当時から年少さんは後半おなかがすいて泣いたり、疲れて競技に出られなくなったりという姿が多く、課題を感じていました。熱中症の対策も行いながら「あー、楽しかった!」と終われる時間内で実施していきたいと思います。

また日々の遊びの中で楽しい経験が積み重なっていることで当日の環境が普段と違っても参加しやすかったり、楽しめるのではないかと考えています。運動会に向けた練習は、当日ちゃんと「何かができる」ためにするのではなく、お客様も多く普段の環境とはかなり違った中でも(大人でもあの大勢のお客様の中ではドキドキします!)、子ども達が余裕をもって充分に楽しめるよう、毎日の遊びの中で何度も経験し、充分面白さを理解して参加してほしいと願い取り組んでいます。

【大きな行事は過程が大事!】

当日ももちろん大事ですが大きな行事ほど「過程」が大事です。年少さんは初めての運動会、日頃と違う環境の中でも充分楽しめるように、年中さんは思いっきり身体を動かす喜びを感じられるように、年長さんは最後の運動会、仲間と力を合わせ競技に取り組むだけではなく、最年長児として運動会の運営にも関われるようにと願っていますから様々な役割を担ってくれます。ゴールのテープを担当してくれたり、道具を出してくれたり、年下のお友だちの競技のお世話をしてくれたり…と大活躍の予定です。どれも急にできるようになるわけではなく当日までの毎日の積み重ねの中で育つものです。日々の遊びや活動との連続性を大事にしていきたいと思っています。

また、当日を迎えるまで子どもによっては「ドキドキする」「うまくできなかったら…」「恥ずかしい」などの葛藤も生まれます。その葛藤は成長にとってとても大事な事です。成長する、ということは新しい葛藤に出会うということでもあります。

どうぞ、その葛藤と向き合う子ども達の姿、運動会に向かう一人ひとりの過程の姿にも目を留めていただけたらと思います。楽しみにしている、どうもドキドキしているみたい、なにも言わないのだけれど大丈夫?(笑)など、どんな事でもお伝えください。

私達保育者も子ども達一人ひとりの道筋をおうちの方々とわかちあい、共有し、ともに子ども達の育ちを支えていきたいと思っています。

【「できる、できない」ではなく！】

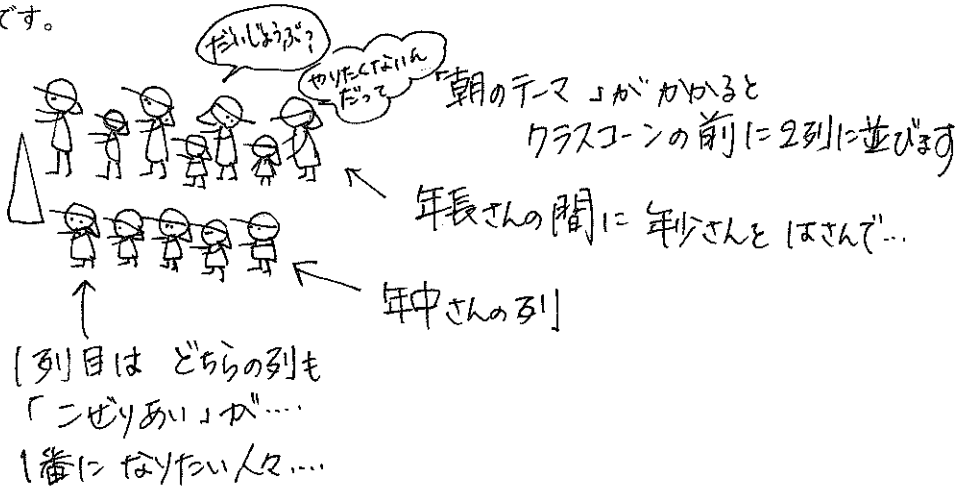
――一人ひとりの成長をみんなで喜び合う運動会に―

行事を楽しみにしていても、一生懸命準備をしていても当日は普段通りに力を出し切れる子ばかりではありません。いつもと違う、たくさんのおうちの方に圧倒されたり緊張や恥ずかしさでドキドキして力を出し切れない子もいることと思います。そのような姿も今現在のお子様の成長の姿と受け止めていただきたいと思います。そして異年齢のクラス編成では子ども達は自分が参加しない競技でも仲良しのお兄さん、お姉さん、あるいは年下のお友達が出場するのでみんなで応援しあう姿があります。おうちの方々にとっても我が子だけではなくクラスや学年を超えて一人ひとりの頑張りを応援し成長の喜びをわかちあえる一日となりますように。

【運動会についてのお願い】

今年度も大勢の方が来園します。お互いに安全のためのルールを守ってご参加ください。先日お渡ししたお便りに当日のルールやお願いがたくさん書いてあります。どうぞよく目を通していただきますようお願いいたします。

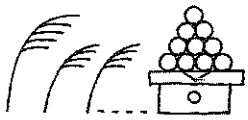
運動会当日までの「過程」をお伝えすることもニュース、この後は学年ごとのあつまりのねらいと様子です。



児玉芽



にじぐみ



二学期から新しく入園したお友だちが半日保育の間はお姉さんたちと遊ぶことを楽しみに元気いっぱいに過ごしていました。しかし、一日保育が始まるとおうちの方が恋しくなったり、疲れも出て泣けてしまうお友だちが増えてきました。保育者が抱っこをすれば安心できる子もいれば、大好きなお姉さんが一緒にいてくれると安心して過ごせる子もいます。

しかし、あつまりの時間には泣いていた子も気分が変わって、歌を歌ったり、製作活動や運動会ごっこをすると元気に参加してくれています。また大好きな友だちと一緒に座ることを楽しみにしている子もいて、お友だち同士でも支え合っていることが嬉しいです。

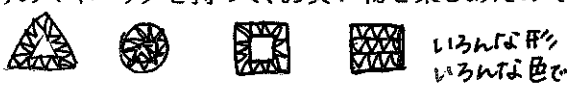
ステキなエコバッグができました♪

にじぐみさんにバザーの意味は少し難しそうでしたが、「幼稚園がおみせやさんになるんだよ」とお話をした時に、皆うれしそうにパアッとお顔を輝かせてくれました。

そしてお買い物と言えば…というと「おかねがいる！」「おさいふも！」「あとバッグも！」など声が上がり、どの子もおうちの方と一緒にお買い物を楽しんでいるんだなと思いました。

そこで真っ白な紙袋にダンボールで作ったスタンプを押して“自分だけのバッグ”を作ることを紹介するとこれもまた大喜びで取り組んでくれました。個別での取り組みで「どの形にする？」「何色がいい？」と聞くと一人ひとりじっくり考えながら「あかにする。」「さんかくがいい。」と自分で選んで慎重にスタンプを押していました。小さなことですが、自分で考えて選ぶということは、これから自分で考えて行動していく力の礎になっていくことと思うので、できる限りそんな機会を保育の中で作っていきたいと思っています。

また、スタンプの押し方もみんな上手で思い思いのデザインで素敵なバッグが出来上がりました。初めてのバザーで世界に一つだけのマイバッグを持って、お買い物を楽しめたのではないでしょうか。



いっぱいあるいたよ！

雨続きでなかなかお散歩に出かける機会がなかったのですが、遠足ごっこの日には薬草園まで足を延ばしてみました。雨で増水している池にはカメが泳いでいたり、森の中ではツクツクボウシの鳴き声や秋の虫の声も聞こえてきました。また真ん丸なドングリを見つけてポケットに大切にしまっている子もいました。豊かな自然の環境に感謝です。

みんなお友だちと手をつないでしっかり歩けてびっくり！順番と言う概念はまたこれから経験を重ねて覚えていきたいと思います。来月は親子芋ほり遠足があります。みんなで元気いっぱい歩いて行きましょうね。



朝の体操始まりました！

二学期から朝の体操が始まりました。にじぐみさんは一学期からお部屋で、朝の集まりの前に「わぁお！」や「ぐるぐるどかーん！」という簡単なリズム体操を楽しんでいました。

クラス旗の前に整列することは初めてです。朝のテーマソングにあわせて「とんとんまえ、とんとんまえ♪」と指令台の先生の真似をして前ならえをするのですが、小さなにじぐみさんには先生が見えず、不思議そうに立っている可愛らしい姿もありました。

今年は雨の日が多いですが、愉快な音楽に合わせてのびのびと体を動かすことを楽しんでいきたいと思います。

応援しよう♪



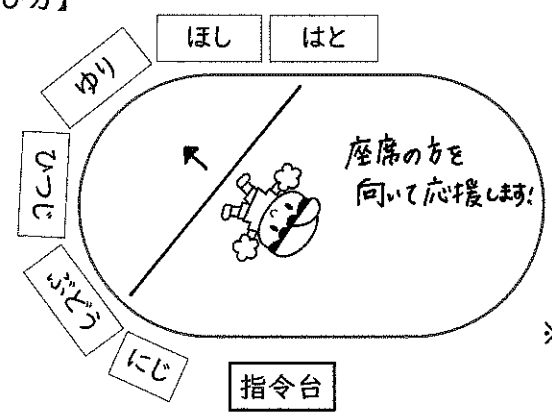
体操の後は、各学年がかけっこやリレー、スペシャルなプログラムを毎回一種目ずつ行います。一生懸命走ったり、玉入れをするお兄さんお姉さんたちの動きを、にじぐみさんも真剣なまなざしで見ています。そこでもっと盛り上げていこうと応援グッズを作っています。

一回切りをした紙片が入ったペットボトルのマラカスや、ビー玉を転がして模様をつけたうちわも作りました。みんなとても気に入って応援にも力が入ります。

そしてにじぐみさんも「応援タイム」やかけっこの「ラン Run らん♪」で頑張ります！にじぐみカラーのピンクのポンポンをもって幼稚園のみんなを応援します。ポンポンを持つだけで嬉しいにじぐみさん。「げんきマーチ」の力強い音楽に合わせて一生懸命踊って応援しています。最後の「おー！！」という決めポーズもばっちり決まっています。

当日は大勢のおうちの方を前にドキドキしてしまうかもしれませんが、とても可愛いらしい応援団をどうぞお楽しみに！

【応援タイムの並び方】



※並び方は順不動です

年少あつまり

2学期になり、年少さんはバザーに向けてエコバッグ作りをしました。サインペン画やビニルテープでオシャレに彩られたバッグを持って、バザー当日、お買い物をしてくれている子もいましたね♡

朝の体操が始まり、あつまりの中では保育者や友だちと一緒に走ってみたり、ジャンプに挑戦したり、身体を動かすことが気持ち良く感じるこの季節ならではの遊びも楽しんでいます。運動会当日を目標に活動するのではなく、毎日の「できた！おもしろい！」「ちょっと、やってみようかな…」という積み重ねを大切にし、その経験が一人ひとりの心と体の成長に繋がってくれたらと願っています♪

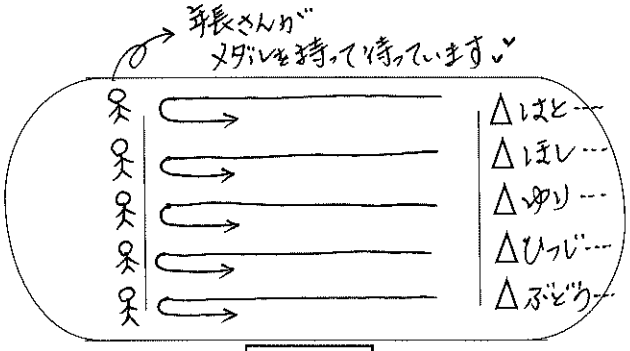
応援グッズづくり

今年度も保育参加が始まり、園周辺のお散歩に出かけています。第一回は、みんなで「どんぐり拾い」をしました。幼稚園の駐車場に落ちているどんぐりと園庭のどんぐりの形の違いを発見したり、きれいなどんぐりだけを厳選して集めて楽しんでいる子も♡運動会に向け、拾ったドングリを使って応援グッズを作る予定です。どんな素敵な作品になるかな～？楽しみです♪

ペットボトルのご協力、ありがとうございました。

よーいドン！

年少さんも走ることに挑戦しますっ✨めざせ、年長さんの手作りメダル!!



① 名前を呼ばれて「はーい」とお返事。
② 「よーいドン」で、メダルを目指して年長さんのところまで走ります！
③ クラスの年長さんからメダルをもらって、
④ クラスの先生と年少係の年長さんのところまで戻ってぎゅっ♡

朝の体操の後、「よーいドン」をしてみました。大きな声で「は～い！」と返事をして走っていく子もいれば、ドキドキして「やりたくない…」とうつむいている子、メダルがもらえて嬉しそうに戻ってくる子…様々な姿がありました。運動会当日は、大勢のおうちの方々の声援の中、走ることになります。いつもと違う雰囲気に緊張する子もいることと思います。どうぞ、一人ひとりの姿を温かく見守っていただき、一歩踏み出そうとする年少さんを応援してください♡

メダルは、年長さんが年少さんのために心を込めて作ってくれています。メダルの裏には、頑張った年少さんに向けての絵やメッセージも。どんなメダルかは、運動会当日のお楽しみです♪

年少さんの保護者の方は、『よーいドン』の競技が終わり次第、各クラスの座席まで来ていただき、お子さんからメダルを受け取ってください。（アナウンスが入ります。）（Rina）

年少スペシャル　宝とりゲーム

先日の年少あつまりで「宝とりゲーム」を行いました。年少さん全員でのルール遊びは初挑戦でしたが、説明を真剣に聞く姿がありました。“(話として)聞いたルール”が、実際に身体を動かしてやってみることで“わかる”経験をすることができました。朝の体操後に、園庭でも一度行いました。室内とは雰囲気が違い、年長さんや年中さんの応援もあり、少し恥ずかしくなってしまった子もいました。

運動会本番、場所はいつもの幼稚園ですが、子どもたちにとって普段以上に多くの人の前に立つ特別な機会です。たくさんの観客がいることで、緊張や不安を感じることもあると思います。そんな中でも大好きなおうちの方や友達と一緒に、安心して楽しむ姿が見られることを楽しみにしています。

朝の体操後の時間には、他学年の競技を一生懸命応援するかわいらしい年少さんの姿があります。遊びを通して育まれた協力する気持ちや応援する心を大切に、運動会当日を迎えたいと思います。

今回の競技では結果発表を行いますが、おうちの方と一緒に身体を動かす楽しさや、友達やおうちの方から応援してもらえる嬉しさを味わえる機会になればとねがっています。また、今回の宝取りゲームでルールのある遊びの楽しさを感じ、これからの遊びに繋がっていくといいなと思います。

＊宝とりゲーム　ルール＊

＊黄・青チーム各２グループに分かれて行います。チーム分け表（次ページ）をご覧ください。

１回戦目：　黄①　VS　青①

２回戦目：　黄②　VS　青②

☆１度に運べる宝は
１人１つ

① 下図の位置に、親子で並んでください。

② スタートの線に親子で並びます。笛の合図が鳴ったら相手の陣地にある宝（赤玉）を、**親子で手を繋いで**走って取りに行きます。

③ 取った宝(赤玉)を自分の陣地に置きます。

④ また、相手の陣地に宝(赤玉)を取りに行きます。終了の合図まで繰り返します。

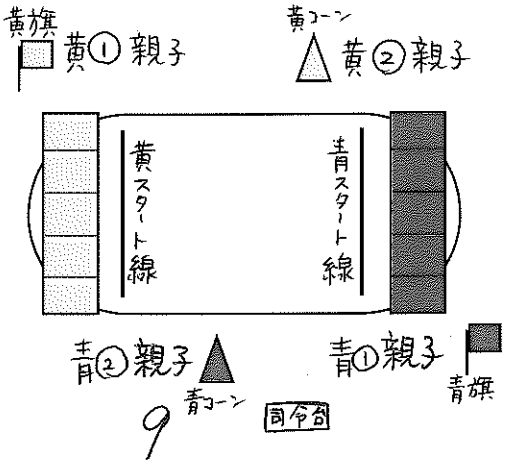
⑤ 終了の笛が鳴ったら、元の位置に戻ります。次のグループと交代します。

⑥ ２回戦後、それぞれの陣地に残っている宝の数を数えて結果発表！

⑦ 退場します。親子で手を繋ぎ、クラスの座席まで送ってあげてください。

☆笛が鳴った時に
手に持っていた宝は、
陣地に置いてOK

〈園庭図〉



年中あつまり

先日行われたバザーでは、子どもたちが作ったちぎり和紙のガーラントを遊戯室の前に飾りました。見ていただけたでしょうか？和紙をちぎる感触を楽しみながら、丁寧に貼り付けをし、時間をかけて作りあげました。当日は、お買い物もめいっぱい楽しんだようで「天使の羽買ったよ～！」「ジョーロも買った～！」と買ったものを教えてくれていました。

今回は、運動会に向かっていく子ども達の姿、取り組みの様子をお伝えします。

ゴールまで全力で!!かけっこに挑戦!

先日、朝の運動会に向けた準備の時間に、年中さんは【かけっこ】をしました。年中さんのかけっこは、三輪車小屋近くをスタートとし、トラックを半周と少し走り、鉄棒より少し手前がゴールになります。初めてかけっこを経験した日でしたが「かけっこできるの嬉しい!!」「がんばって走るぞ～！」と意欲的な子どもたちの姿がありました。笛の合図でスタートをし、ゴールテープまでおもいっきり走った後、自分のクラスの三角コーンに並ぶところまでしっかり理解して取り組んでた年中さん♪今の年長さんが、去年のうんどうかいでかけっこをしていた姿をよく見ていたのかなぁと嬉しく思いました。途中でこけてしまった子もいましたが、すぐに立ち上がり最後まで走る姿に成長を感じました。中には“走れるか不安だなぁ…”“今日はやめておこうかな…”という子の姿もありました。けれど、別の日にかけっこをしたときには、保育者と一緒に手を繋いで走る姿が!!大勢の人の前で走るのは、とっても勇気がいることだと思います。“挑戦してみたい‥”“でもちゃんと走れるか心配‥”と様々な思いを持ちながら、葛藤している年中さんです。当日は、いつも以上にドキドキしたり、いつもとは違う姿の子もいるかもしれませんが、力いっぱい走る子ども達を温かく見守っていただけたらと思います。

看板づくり

運動会に向けての年中さんとしての役割の一つとして、看板づくりがあります。『うんどうかい』の文字や各クラスの応援席につけるクラス名、また『がんばるぞ』の文字などを作り飾りたいと思っています。

今年の看板は、一人一文字色を塗りこむことと、ビー玉をコロコロ転がして土台に絵具で模様をつけてみることに♪文字の塗りこみでは、色々な色を使って塗り込んでいく子や、一色を隙間なく塗り込む子、文字の枠からはみ出さないように丁寧にじっくりと塗り込む子など、一人ひとりが真剣に取り組み、とても素敵な文字がたくさん出来上がりました。

次のあつまりで、ビー玉を使った台紙の模様づくりをする予定です。どんな看板になるのか、当日をお楽しみに!!お子さんに、どの文字を作ったのか是非聞いてみてください♪

（あゆみ）

年中スペシャルは…玉入れです!

年少さんの頃から楽しんできた玉入れ。勝ち負けの悔しさや嬉しさを仲間と分かち合いながら、みんなで一つの目標に向かって夢中になる経験を積み重ねてきました! 自分の頭でいろいろと考えながら遊ぶ姿が増えてきた子どもたち。「どうしたら入るかな?」と投げ方を工夫したり、カゴに近づいてみたり、遠くにいってみたりと、年中さんらしい工夫が見られるようになってきました。なかなか入らなくて悔しい思いをすることもありますが、「こうやって投げたら入った!」という発見を友達と話し合いながら、チームで力を合わせる楽しさを味わっています♪

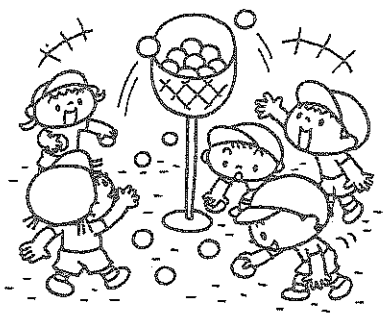
運動会当日は、おうちの方とペアになって行う「スペシャル玉入れ」にチャレンジします!
子どもたちはおうちの方におんぶしてもらい、保育者が背負って動き回るカゴを狙って玉を投げます。
練習で動くカゴが登場した瞬間、子どもたちの目は釘付けに!「絶対に入れるぞ!」と真剣な表情でカゴを追いかける姿や、玉が入った瞬間に飛び跳ねて喜ぶ姿がたくさん見られました。

おうちの方の背中の温もりを感じながら、カゴを狙う子どもたちの姿は迫力満点です! 当日はぜひ、親子で力を合わせて最高の思い出を作ってください♪

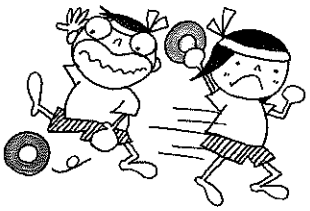
【スペシャル玉入れ ルール】

・おうちの方は、赤白それぞれの待機場所(図)に集合してください。まず子どものみで通常の玉入れをしますので、待機場所で座って応援してください。
・「スペシャル玉入れをします。おうちの方は移動してください」というアナウンスが流れたら、お子さんの後ろ(図の点線部分)に移動してください。
・お子さんをおんぶして行います。肩車はしないようお願いします。
・円の外から、保育者が背負ったカゴに玉を投げます。円の中はカゴを背負った保育者が移動しますので、入らないでください。
・円の外は歩いて移動できます。安全のため走ることは禁止です。
・子どもたちは、円の中にいる玉渡し係の保護者から玉を1つ受け取って投げます。円の外にある玉は拾ってもOKです。
・笛の合図で開始、終了します。

※玉渡し係(円の中で玉を拾って渡す係)をしていただく
保護者の方には、当日お声がけします。よろしくお願いします!



年長あつまり

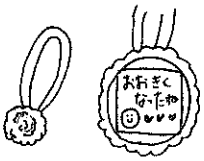


☆運動会の係を担います!

この幼稚園は保育者だけが運動会を進めていくのではなく、年長の子ども達も一緒に運動会を運営するところが他園にはない取り組みだと思います。先日のあつまりで、昨年の年長さんが運動会でどのような係をしていたか思い出してもらうと、「今から運動会を始めます、って言っていた」「年少さんやにじぐみさんにメダルをかけてあげていた」「かけっこの時にゴールテープをしてくれた」など全ての係を覚えていた年長さん。来年は自分たちが係をやるんだという思いで、昨年の年長さんの立派な姿を見ていたかと思うと、縦割り保育だからこそ、身近な憧れの年長さんの姿がしっかり心に焼き付いているのだと思いました。

今年は自分たちが係を担う番となります。神さまからいただいた一人ひとりの力を持ち寄り、互いに支え合いながら年長の子ども達中心に運動会を進めていきたいと思います。競技だけでなく、年長の子ども達がみんなの為に心を配り、手伝う姿にもぜひ温かい眼差しを向けていただけたらと思います。

☆メダル作り



運動会を前に、年長さんがにじぐみさんと年少さんの為に、心を込めてメダルを作りました。今年はお花紙をじゃばら折りにして作ったきれいなお花のメダルです。もちろんステキなメッセージや絵も描きました☆メダルには、年少さんやにじぐみさんを思う優しい気持ちがたくさん込められています。運動会当日は係の子から心のこもったメダルが贈られます。縦割り保育の中で育まれてきた、子ども達の温かな繋がりを感じていただけたらと思います。

☆リレー

年長児が取り組むリレーにはかけっことは違った大切な意味があります。リレーでは自分一人の力だけではゴールに辿り着くことはできません。友だちから受け取ったバトンを次の友だちへと繋ぎ、みんなで一つのゴールを目指します。先日、体操後に全クラスでリレーの練習をした時に、「次の友だちにしっかり渡すことが大事だね、だから友だちの名前を呼ぶと良いよね」という意見が出ました。速く走ることや勝つことだけがリレーの目的ではありません。自分に託されたバトンを大切に次へ渡し、友だちを信じ、友だちの頑張りを応援する。その一つひとつの姿の中に、年長児の成長と団結があります。友だちと励まし合い、応援し合う中で「自分も仲間の為に頑張りたい」という思いを持って取り組んでいます。

一人ひとりが力を出し合いながら、みんなの力を合わせて作り上げていくリレー。年長児だからこそ経験できる、かけがえのない時間です。年長の子ども達が心を一つにしてバトンを繋いでいく姿を、どうぞクラス関係なく、温かく応援していただけたらと思います。

☆年長スペシャルは 騎馬戦です！ ～勝つための作戦会議～

雨の合間を縫って、リレーやドロケイ、雨の日も午後はドッジボールを楽しんでいる子どもたち。年長さんには、運動会の経験を通して、作戦を考えたり協力して勝負したりする楽しさを感じ、さらに遊びを深めていってほしいと願っています。そこで年長スペシャルは、おうちの方の力をお借りして、騎馬戦に挑戦します！

年長あつまりでは、運動会に向けて〈騎馬戦のしっぽバージョン〉をして遊びました。大将戦に初めて挑戦した子どもたちは、普段のしっぽとりと同じように各々しっぽを取り合っていました。大将も勇んで敵チームの中に突っ込んでいくので、あっという間に試合終了。

どうして負けたのか？どうしたら勝てると思うか？を子どもたちに聞くと、「大将を守ったらいい」という意見が。さすが年長さん！と思いました。大将を守る人が必要なんだ！と気づいたはずの子どもたちですが、いざ次のチームが大将戦をやってみると、あれ？誰も守っていません（笑）。またも大将は一瞬でしっぽを取られ、あっけなく試合終了。

今度はチームごとに勝つための作戦を考えました。「帽子を取りに行く人と守る人を半分ずつにする」「見つからないように帽子を取る」「帽子を取りに来た人の帽子を取る」など意見が出てきました。また、あるチームは「恥ずかしい」「負けたら嫌だ」という思いから大将をやりたい子がおらず、あるチームでは攻めたい人ばかりで、大将を守りたい人がおらず、話し合いは難航しました。時間はかかりましたが、チームとしてどうしたら勝てるのかを話し合い、「大将をやってみようかな」「守る人をやってもいいよ」と自分の意見を変える姿がありました。他者の意見を聞き、たくさん考えて、自分の意見を柔軟に変えることも大切な力ですね。

心も身体も大きくなってきた年長さんですが、おうちの方が大好きで、おんぶしてもらうのを楽しみにしています。怪我なく楽しむためにも、ルールをよく読んでおいてくださいね。

☆騎馬戦は二種類行います！

【個人戦】…帽子を取られていない人数が多いチームが勝ちです。
【大将戦】…相手チームの大将が被っている兜を早く取ったチームが勝ちです。

競技前に、子どもたちが考えた作戦をおうちの方に伝えます。お楽しみに♡

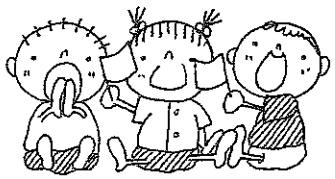
☆騎馬戦のルール

・子どもたちはゴムを帽子の中に入れ、後ろ向きにかぶります。
・お子さんをおんぶします。肩車は禁止です。
・競技中は歩いて移動します。早歩き、走ることは禁止です。
・四角形のコートの線から出ないでください。
・帽子を取られたら、スタートラインに戻り、座ってください。
・笛の合図で終了です。

ルールを守って楽しみましょう！

運動会の開会礼拝で歌う讃美歌です☆

みなさんで一緒に賛美しましょう!!



しゅイエスのみちを



※1番のみ歌います

